

(別紙1)

単元名 水溶液の性質とはたらき(14時間)

学習指導要領の項目 A(2)ア(ア) (イ) (ウ)イ

主な学習活動	時間	重点	記録	検討改善	備考
試験管に入った水溶液の写真や、身の周りで水溶液を利用している様子の写真を見て、水溶液の違いについて問題を見いだす。 食塩水、石灰水、アンモニア水、塩酸、炭酸水にはどのような違いがあるか予想し、違いを調べる方法を考える。	1	思			思考・判断・表現①/ 【発言分析・記述分析】
5種類の水溶液の違いを調べる。(実験1)	2	知			知識・技能④/【行動観察・記録分析】
実験結果を基に、水溶液には固体が溶けているものがあることをまとめる。	1	思		○	思考・判断・表現①/ 【発言分析・記述分析】
炭酸水には何が溶けているのか調べる。(実験2) 炭酸水には二酸化炭素が溶けていることをまとめる。	1	知			知識・技能②/【発言分析・記述分析】
リトマス紙を使って、水溶液を仲間分けする。(実験3)	1	態			主体的に学習に取り組む態度①/ 【発言分析・行動観察】
水溶液は、酸性、中性、アルカリ性に分けできることをまとめる。 身の周りのいろいろな水溶液をリトマス紙につけて性質を調べる。	1	知	◎		知識・技能①/【発言分析・記述分析】
水溶液には金属を変化させる働きがあるか予想し、金属に塩酸や水を注ぐとどうなるかを調べ、まとめる。(実験4)	2	知			知識・技能④/【行動観察・記録分析】
塩酸に溶けた金属はどうなったのか予想し、調べる方法を考える。 塩酸にアルミニウムが溶けた水溶液を蒸発させて、溶けた金属を取り出すことができるか調べる。(実験5)	2	思			思考・判断・表現①/ 【発言分析・記述分析】
水溶液を蒸発させて出てきた固体の性質を調べる方法を考える。 自分たちが考えた方法で固体の性質を調べる。(実験6)	1	態	◎		主体的に学習に取り組む態度①/ 【発言分析・行動観察】
金属が溶けた水溶液から出てきた固体の性質を考察する。(本時)	1	思	◎	○	思考・判断・表現①/ 【発言分析・記述分析】
水溶液の性質と働きについて、学習したことをまとめる。	1	知	◎		知識・技能③/【発言分析・記述分析】

単元計画について

- ① 単元計画を作成する。
- ② チェックリストの結果を基に手立てを選択し、下記空欄に○印を記入する。
- ③ 単元内で「検討・改善」する活動を行う場面例を上記計画(色付き場面)で把握する。

○印	伸ばす側面	手立て
	思考の基盤	観察・実験の結果を見させ、問題解決の過程を振り返り、分かったことを考えさせる。
	探究的思考	友達の考察の不足部分に気付かせ、質問をさせる。
	合理的思考	なぜそのような解釈になったのか、根拠を考えさせる。
	反省的思考	「みちがえる質問集」を活用し、自分や友達の考えを見直す経験を積ませる。
	目標志向的思考	考察を立てる際に、問題は何を聞いているのか質問させる。
	懐疑的思考	話し合いを通して友達の考えを見直す経験を積ませる。